

令和元年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク講演会

《 来賓挨拶 》



■国土交通省港湾局産業港湾課長 石橋洋信

只今、ご紹介いただきました国土交通省港湾局の石橋でございます。本日、日本海にぎわい・交流海道ネットワークの講演会がここ能代市で開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。特にこのネットワーク関係者の皆様方におかれましては、平成7年の設立以来20年間以上にわたり日本海各地の連携や交流の拡大に貢献されてきたことに改めて敬意を表する次第です。

さて、日本海の関係の港湾の最近のトピックスということでございますが、今日の講演会のチラシを拝見しましてそこから明らかなおお、洋上風力とクルーズの二つがやはり最近の日本海の港湾の大きなテーマかなと思います。なにしろ今ちょうど促進地域が11地域、洋上風力に関しては決まっております有望地域も4地域、これはすべて銚子沖以外がすべて日本海側にあるということで、これから各地でいろんなポテンシャルが高いプロジェクトが動くのではないかと期待しております。それからクルーズにつきましては日本海側を巡るクルーズというのは大分定着してまいりました。日本を訪れるクルーズ客ですが、実は8割くらいの方は中国から来ているという状況でございます。ちょうど昨年、今年くらいにかけては少し急成長した後、調整局面にございますが、実は来年度から中国の市場に欧米の船会社が大きな船を投入する予定でして3割くらいキャパシティが増えるということで、また恐らく2020大分持ち直すのではないかという風に思っております。ただその時の課題はいかに寄港地で満足していただくのかというところが課題でございま

して、これは今日いろいろお話の中でも糸川支社長からもアイデアをいただけるのではないかという風に思っておりますし、今日、石川議長からも北前船のお話をお伺いできるということで、両方ともこれからいかにインバウンドを含めてこの地域に踏み込んでいくというところに非常に繋がってくるということで、このネットワークの活動の方向性にまさに参考になるのではないかと期待しております。

結びになりますが、この講演会の開催にあたりましてご尽力いただきました能代市の齊藤市長様をはじめとした関係者の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、ご来場の皆様方のご健勝とこのネットワークのますますのご発展を祈念いたしまして、私のごあいさつとさせていただきます。誠におめでとうございます。